

南山城村観光振興計画改訂版(案)に対するパブリックコメントの結果について

No.	該当箇所	提出意見（要約）	回 答
1	<p>P7-9 第2章2-3 本村の現状と課題</p>	<p>「2-3 本村の現状と課題」における分析から、本村の観光事業としては道の駅の役割がきわめて大きい。一方、行政は予算や人員不足から観光業務の進捗が思わしくないと分析している。行政が積極的に観光業務を牽引する理由が本計画からは読み取れない。</p> <p>以上により、観光むらづくり団体を道の駅に指定して道の駅に全面的に観光事業の協力を仰ぎ、行政は観光業務を大幅に縮小すべきと考える。</p>	<p>持続可能な地域づくりを目的とした観光むらづくりを積極的に推進するためには、あらゆる地域資源を繋ぐ観光プラットフォームを構築し村全体の観光マネジメントを担う役割が不可欠であり、計画では観光むらづくり団体がそれを担うものとしています。</p> <p>道の駅は、集客の中心的存在ではありますが、現時点では観光むらづくりを担うにはノウハウや人材等の充実が必要と考えています。少なくとも団体のスタートアップには行政の積極的な関わりが必要と考えます。</p> <p>観光推進協議会や各種ワークショップを重ねながら、道の駅が中心的役割を担うことも想定し、観光むらづくりの仕組みを構築して参ります。</p>
2	<p>P15 第3章3-4 具体的な取組 (プロジェクト)</p>	<p>プロジェクト1 観光推進体制づくり ③観光人材の育成に「おもてなし」講座や研修会を定期的で開催し、ボランティアを育成する、とある。</p> <p>なぜボランティアなのか。責任のある専門職として、最低でも会計年度任用職員として雇用するべきではないか。</p>	<p>計画に記載する観光人材とは観光客を案内するボランティアガイドのことを示しています。その他の観光人材については雇用を予定していません。</p> <p>ボランティアガイドは、村独自のスポットへの案内と地元住民としての交流が主な役割であり、プロのガイドと比較して村民が参画しやすいこと、価格設定が比較的安くツアーに組み込みやすいことが利点と考えています。</p>